

つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2014. 10~12月期 第12回

【特別調査—2015年(平成27年)の経営見通し】

津山信用金庫は、作州地域内246企業の経営者のご協力のもと、ここに第12回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況:10月~12月の業況は晴れ時々曇、1月~3月の見通しも晴れ時々曇■

【地域別天気図】	2013年 10月~12月	2014年 1月~3月	2014年 4月~6月	2014年 7月~9月	今期実績 10月~12月	来期見通し 1月~3月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2014年10月~12月)の業況判断DIは、消費増税の影響が薄れ、年末の需要が増加した影響で前期比17.7ポイントと上昇し、プラス20.3となった。ただし、来期(2015年1月~3月)はプラス10.6と業況感の改善も一服する見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比23.8ポイントと大幅に上昇しプラス22.4、真庭地域は前期比15.8ポイント上昇しプラス20.0、美作勝央地域は前期とほとんど変わらずプラス13.6となった。来期は、津山鏡野地域プラス15.1、真庭地域プラス8.0、美作勝央地域マイナス2.3と全地域で業況感の改善ペースが低下する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
地域別	DI								
作州地域全体	2.6	36.6	47.2	16.3	20.3	30.9	48.8	20.3	10.6
津山鏡野地域	▲1.4	38.2	46.1	15.8	22.4	34.2	46.7	19.1	15.1
真庭地域	4.2	36.0	48.0	16.0	20.0	28.0	52.0	20.0	8.0
美作勝央地域	13.9	31.8	50.0	18.2	13.6	22.7	52.3	25.0	▲2.3

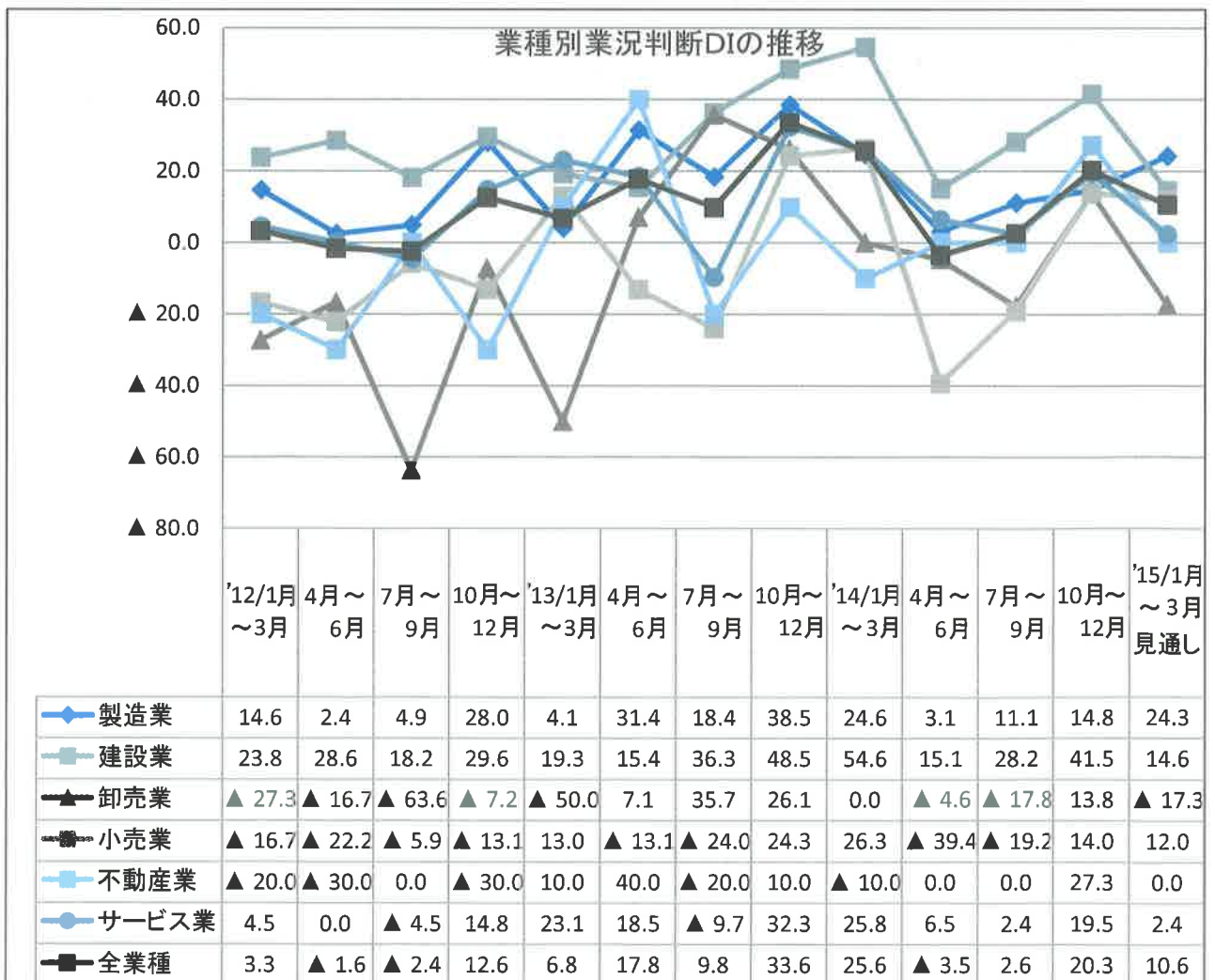
※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上~ 30未満	0以上~ 10未満	▲10以上 ~ 0未満	▲30以上 ~ ▲10未満	▲30未満
天気図						

■ 全業種総合 ■

【業種別 天気図】	2013年 10月～12月	2014年 1月～3月	2014年 4月～6月	2014年 7月～9月	今期実績 10月～12月	来期見通し 1月～3月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						



全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	2.6	36.6	47.2	16.3	20.3	30.9	48.8	20.3	10.6
売上	6.3	50.4	35.4	14.2	36.2	27.6	47.2	25.2	2.4
収益	1.7	42.3	43.5	14.2	28.1	23.2	53.3	23.6	▲ 0.4

- 業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)はプラス20.3となり、前期比17.7ポイント上昇した。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス10.6となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス36.2となり、前期比29.9ポイント上昇した。来期見通しはプラス2.4となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス28.1となり、前期比26.4ポイント上昇した。来期見通しはマイナス0.4となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI
資金繰り	2.5	14.2	77.6	8.1	6.1	8.9	81.3	9.8	▲ 0.9
雇用(人手過不足)	▲ 32.0	3.3	56.5	40.2	▲ 36.9	3.3	57.7	39.0	▲ 35.7
設備投資	▲ 14.1	3.4	81.7	14.9	▲ 11.5	2.1	82.1	15.7	▲ 13.6

- 資金繰り判断DIは、今期(2014年10月～12月)はプラス6.1となり、前期比3.6ポイント上昇した。来期(2015年1月～3月)見通しはマイナス0.9となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス36.9となり、前期比4.9ポイント下降した。来期見通しもマイナス35.7となっている。今期も引き続き人手不足感が強く「やや不足」「不足」と回答のあった企業は4割を超えている。
- 設備投資DIは、今期はマイナス11.5となり、前期比2.6ポイント上昇した。来期見通しはマイナス13.6となっている。「適正」と回答のあった企業は8割を占めている。

■製造業■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	11.1	37.8	39.2	23.0	14.8	40.5	43.2	16.2	24.3
売上	0.0	51.4	33.8	14.9	36.5	25.7	52.7	21.6	4.1
収益	▲ 9.7	36.5	45.9	17.6	18.9	21.6	54.1	24.3	▲ 2.7

- 製造業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比3.7ポイント上昇し、プラス14.8となった。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス24.3となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス36.5、来期見通しはプラス4.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス18.9、来期見通しはマイナス2.7となっている。
- 製造業の内、その他製造業(下表の製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業)を除く)の業況判断DIは、今期はプラス24.2、来期見通しはプラス30.3となっている。
- 受注が多く機械稼働率も高い状態が続いているが、材料価格の上昇が収益を圧迫しているとの声が多数の企業から聞かれた。

製造業のうち: 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	42.8	35.7	50.0	14.3	21.4	64.3	35.7	0.0	64.3
売上	14.3	35.7	50.0	14.3	21.4	64.3	35.7	0.0	64.3
収益	14.3	35.7	42.9	21.4	14.3	42.9	57.1	0.0	42.9

●金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比21.4ポイント下落し、プラス21.4となった。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス64.3となっている。大型案件が受注できている等の理由から「悪い」「やや悪い」と回答した企業はなかった。

●売上判断DIは、今期はプラス21.4、来期見通しはプラス64.3となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス14.3、来期見通しはプラス42.9となっている。

●短納期での仕事が多く、土曜日・日曜日の作業を余儀なくされているとの声があった。

製造業のうち: 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 7.2	13.3	53.3	33.3	▲ 20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0
売上	7.2	33.3	60.0	6.7	26.6	20.0	66.7	13.3	6.7	6.7
収益	▲ 14.3	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0

●木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比12.8ポイント下落しマイナス20.0となった。来期(2015年1月～3月)見通しはゼロとなっている。

●売上判断DIは、今期はプラス26.6、来期見通しはプラス6.7となっている。

●収益判断DIは、今期はゼロ、来期見通しもゼロとなっている。

●木造住宅着工件数が前年比13.4%減少しているため、業況が改善していないとの声が聞かれた。

製造業のうち: 農林業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 16.7	33.3	58.3	8.3	25.0	16.7	58.3	25.0	▲ 8.3	▲ 8.3
売上	▲ 33.3	58.3	33.3	8.3	50.0	8.3	58.3	33.3	▲ 25.0	▲ 25.0
収益	▲ 25.0	25.0	58.3	16.7	8.3	8.3	33.3	58.3	▲ 50.0	▲ 50.0

●農林業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比41.7ポイント上昇しプラス25.0ポイントとなった。来期(2015年1月～3月)見通しはマイナス8.3となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス50.0、来期見通しはマイナス25.0となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス8.3、来期見通しはマイナス50.0となっている。

●今期は、農業で収穫期を迎えたこと、林業で秋需を迎えたことから業況改善がみられた。

■ 建設業 ■

建設業	前期	今期実績				来期見通し				
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	28.2	43.9	53.7	2.4	41.5	31.7	51.2	17.1	14.6	14.6
売上	20.5	56.1	41.5	2.4	53.7	26.8	46.3	26.8	0.0	0.0
収益	20.5	36.6	61.0	2.4	34.2	17.1	63.4	19.5	▲ 2.4	▲ 2.4

●建設業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比13.3ポイント上昇しプラス41.5となった。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス14.6となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス53.7、来期見通しはゼロとなっている。

●収益判断DIは、今期はプラス34.2、来期見通しはマイナス2.4となっている。

●下表の住宅建設を除く建設業の業況判断DIは、今期はプラス50.0、来期見通しはプラス18.2となっている。

●年末完成を目指す公共工事の発注が増加しているため業況の改善がみられた。

建設業のうち： 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	52.7	36.8	57.9	5.3	31.5	26.3	57.9	15.8	10.5
売上	31.6	52.6	42.1	5.3	47.3	26.3	47.4	26.3	0.0
収益	42.1	31.6	63.2	5.3	26.3	21.1	63.2	15.8	5.3

●住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比21.2ポイント下落しプラス31.5となった。来期(2015年1月～3月)の見通しはプラス10.5となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス47.3、来期見通しはゼロとなっている。

●収益判断DIは、今期はプラス26.3、来期見通しはプラス5.3となっている。

●消費税増税後、新築受注は減少したが、リフォームは堅調であるとの声が複数あった。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲17.8	34.5	44.8	20.7	13.8	17.2	48.3	34.5	▲17.3
売上	0.0	37.9	37.9	24.1	13.8	27.6	41.4	31.0	▲3.4
収益	▲14.3	37.9	41.4	20.7	17.2	27.6	44.8	27.6	0.0

●卸売業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比31.6ポイント上昇しプラス13.8となった。来期(2015年1月～3月)見通しはマイナス17.3となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス13.8、来期見通しはマイナス3.4となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス17.2、来期見通しはゼロとなっている。

●作州地域外の取引量が増加し、大都市等で景況感の改善を感じるとの声があった。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲19.2	34.0	46.0	20.0	14.0	30.0	52.0	18.0	12.0
売上	▲4.3	62.0	22.0	16.0	46.0	38.0	42.0	20.0	18.0
収益	▲2.1	62.0	28.0	10.0	52.0	32.0	50.0	18.0	14.0

●小売業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比33.2ポイント上昇しプラス14.0となった。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス12.0となっている。

●売上判断DIは、今期はプラス46.0、来期見通しはプラス18.0となっている。

●収益判断DIは、今期はプラス52.0、来期見通しはプラス14.0となっている。

●下表の自動車小売業を除く小売業の業況判断DIは、今期プラス16.7、来期見通しはプラス5.6となっている。

小売業のうち： 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲35.8	28.6	50.0	21.4	7.2	35.7	57.1	7.1	28.6
売上	▲14.3	64.3	28.6	7.1	57.2	64.3	21.4	14.3	50.0
収益	▲21.4	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	42.9	7.1	42.9

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比43.0ポイント上昇しプラス7.2となった。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス28.6となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス57.2、来期見通しはプラス50.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス50.0、来期見通しはプラス42.9となっている。
- 来年4月からの軽自動車税増税前の需要を期待しているとの声が聞かれた。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	0.0	36.4	54.5	9.1	27.3	27.3	45.5	27.3	0.0
売上	0.0	45.5	36.4	18.2	27.3	36.4	36.4	27.3	9.1
収益	0.0	45.5	45.5	9.1	36.4	27.3	45.5	27.3	0.0

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期から27.3ポイント上昇しプラス27.3となった。来期(2015年1月～3月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス27.3、来期見通しはプラス9.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス36.4、来期見通しはゼロとなっている。
- 消費税増税の先送りにより分譲地販売がペースダウンし困惑しているとの声が聞かれた。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	2.4	31.7	56.1	12.2	19.5	24.4	53.7	22.0	2.4
売上	22.0	39.0	46.3	14.6	24.4	17.1	51.2	31.7	▲ 14.6
収益	19.5	36.6	41.5	22.0	14.6	17.1	53.7	29.3	▲ 12.2

- サービス業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比17.1ポイント上昇しプラス19.5となった。来期(2015年1月～3月)見通しはプラス2.4となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス24.4、来期見通しはマイナス14.6となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス14.6、来期見通しはマイナス12.2となっている。
- 本年4月より新たな貸切バスの運賃・料金制度が実施され、運賃単価は上昇したが、稼働日が減ったとの声が複数から聞かれた。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績			来期見通し				
DI区分		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	6.6	20.0	73.3	6.7	13.3	26.7	46.7	26.7	0.0
売上	13.3	26.7	60.0	13.3	13.4	20.0	53.3	26.7	▲ 6.7
収益	13.4	33.3	40.0	26.7	6.6	20.0	60.0	20.0	0.0

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2014年10月～12月)は前期比6.7ポイント上昇しプラス13.3となった。来期(2015年1月～3月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス13.4、来期見通しはマイナス6.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス6.6、来期見通しはゼロとなっている。
- 2015年の介護報酬改定では、2006年度以来9年ぶりにマイナス改定になるのではないかとの声が多数聞かれた。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

昨年同期比較売上高DI				
業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	43.2	24.3	32.4	10.8
建設業	43.9	34.1	22.0	21.9
卸売業	31.0	41.4	27.6	3.4
小売業	24.0	42.0	34.0	▲ 10.0
不動産業	45.5	36.4	18.2	27.3
サービス業	39.0	36.6	24.4	14.6
総計	37.4	34.1	28.5	8.9

昨年同期比較収益DI				
業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	25.7	33.8	40.5	▲ 14.8
建設業	36.6	41.5	22.0	14.6
卸売業	24.1	48.3	27.6	▲ 3.5
小売業	26.0	44.0	30.0	▲ 4.0
不動産業	45.5	18.2	36.4	9.1
サービス業	36.6	39.0	24.4	12.2
総計	30.1	39.0	30.9	▲ 0.8

昨年同期比較販売価格DI				
業種別	増加	変らず	減少	DI
卸売業	27.6	72.4	0.0	27.6
小売業	24.0	62.0	14.0	10.0
総計	25.3	65.8	8.9	16.4

- ① 昨年同期(2013年10月～12月)比較売上高DIは、小売業はマイナスとなったものの、全業種ではプラス8.9となった。
- ② 昨年同期比較収益DIは、プラスとマイナスの業種が半々となり、全業種でマイナス0.8となった。
- ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業プラス27.6、小売業プラス10.0となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降	DI
業種別	DI								
製造業	▲ 9.7	10.8	73.0	16.2	▲ 5.4	5.4	89.2	5.4	0.0
建設業	17.9	12.2	80.5	7.3	4.9	2.4	92.7	4.9	▲ 2.5
卸売業	10.7	6.9	89.7	3.4	3.5	17.2	82.8	0.0	17.2
小売業	12.8	20.0	68.0	12.0	8.0	8.0	82.0	10.0	▲ 2.0
不動産業	▲ 40.0	9.1	81.8	9.1	0.0	9.1	90.9	0.0	9.1
サービス業	14.6	19.5	75.6	4.9	14.6	4.9	92.7	2.4	2.5
総計	4.6	13.8	76.0	10.2	3.6	6.9	88.2	4.9	2.0

● 販売価格DIは、今期は、製造業がマイナス5.4となったが、全業種ではプラス3.6となった。来期見通しは、建設業と小売業ではマイナスとなるが、全業種ではプラス2.0となっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降	DI
業種別	DI								
製造業	40.2	55.4	37.8	6.8	48.6	33.8	60.8	5.4	28.4
建設業	56.4	56.1	41.5	2.4	53.7	41.5	58.5	0.0	41.5
卸売業	28.6	31.0	65.5	3.4	27.6	34.5	65.5	0.0	34.5
小売業	12.7	24.0	56.0	20.0	4.0	14.0	72.0	14.0	0.0
不動産業	▲ 20.0	9.1	81.8	9.1	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0
サービス業	29.3	24.4	65.9	9.8	14.6	9.8	78.0	12.2	▲ 2.4
総計	31.6	39.0	52.0	8.9	30.1	26.0	67.1	6.9	19.1

● 仕入価格DIは、すべての業種でプラスとなり、今期は前期に引き続き仕入価格上昇の回答が多く、全業種でプラス30.1となった。来期見通しは全業種でプラス19.1となっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	▲ 5.7	12.2	82.4	5.4	6.8	4.1	87.8	8.1	▲ 4.0
建設業	0.0	4.9	92.7	2.4	2.5	2.4	95.1	2.4	0.0
卸売業	0.0	6.9	89.7	3.4	3.5	0.0	96.6	3.4	▲ 3.4
小売業	8.5	22.0	76.0	2.0	20.0	10.0	86.0	4.0	6.0
不動産業	0.0	0.0	81.8	18.2	▲ 18.2	27.3	63.6	9.1	18.2
総計	0.0	11.7	83.9	3.9	7.8	5.9	88.8	5.4	0.5

●在庫DIは、今期は、全業種で約8割が適正と回答し、全業種でプラス7.8となった。来期見通しは、全業種で約9割が適正と回答し、全業種でプラス0.5となっている。

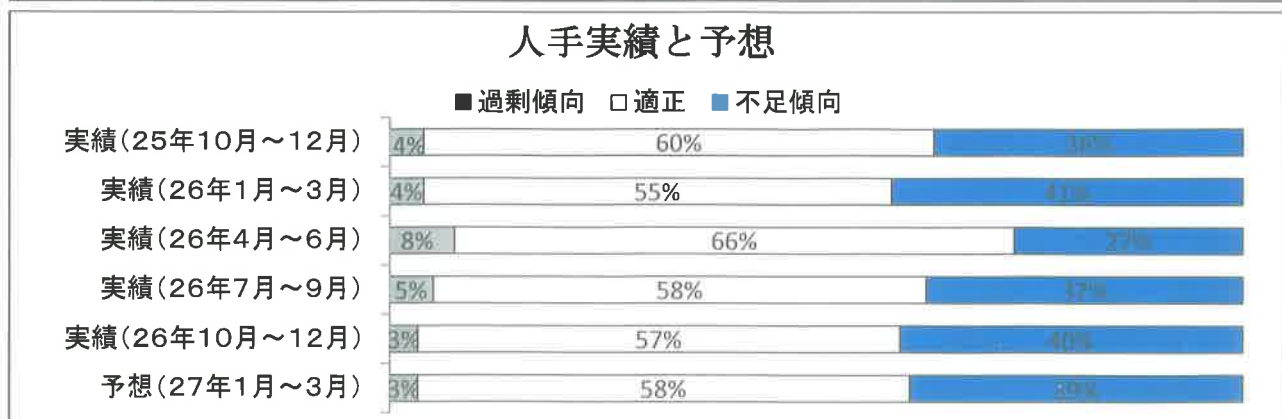
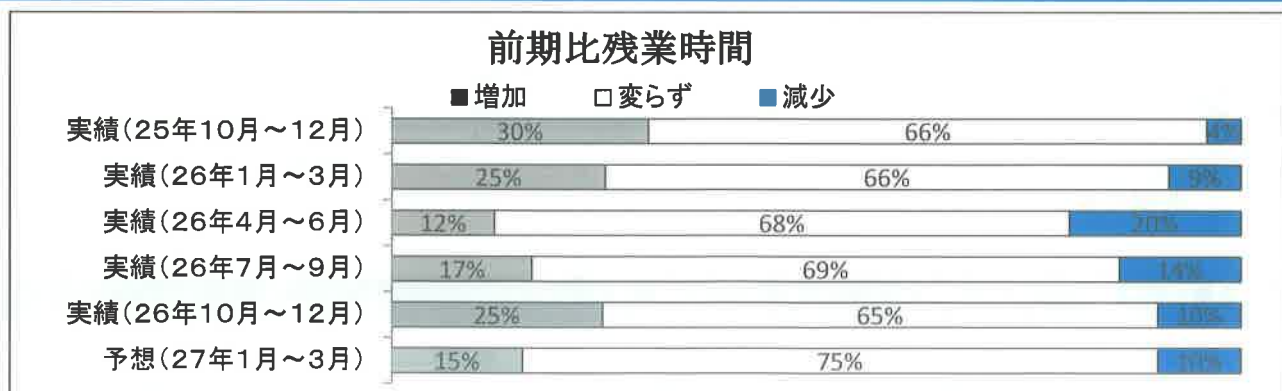
■受注残■

受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず
製造業	9.7	43.2	44.6	12.2	31.0	21.6	58.1	20.3	1.3
建設業	25.6	39.0	48.8	12.2	26.8	24.4	46.3	29.3	▲ 4.9
総計	15.3	41.7	46.1	12.2	29.5	22.6	53.9	23.5	▲ 0.9

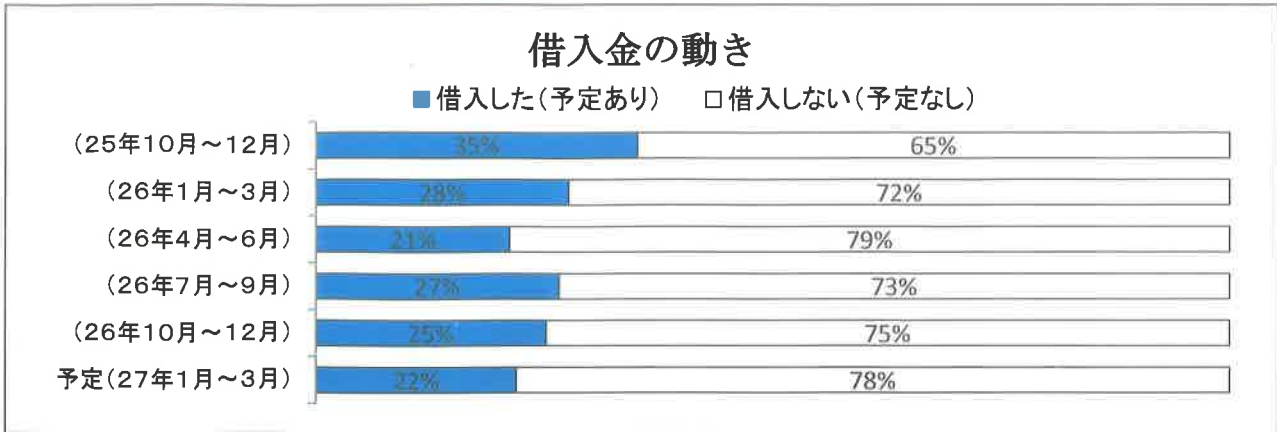
●製造業の受注残DIは、今期は前期比21.3ポイントと大幅に上昇しプラス31.0となり、来期見通しはプラス1.3となっている。

●建設業の受注残DIは、今期は前期比1.2ポイント上昇しプラス26.8となり、来期見通しはマイナス4.9となっている。

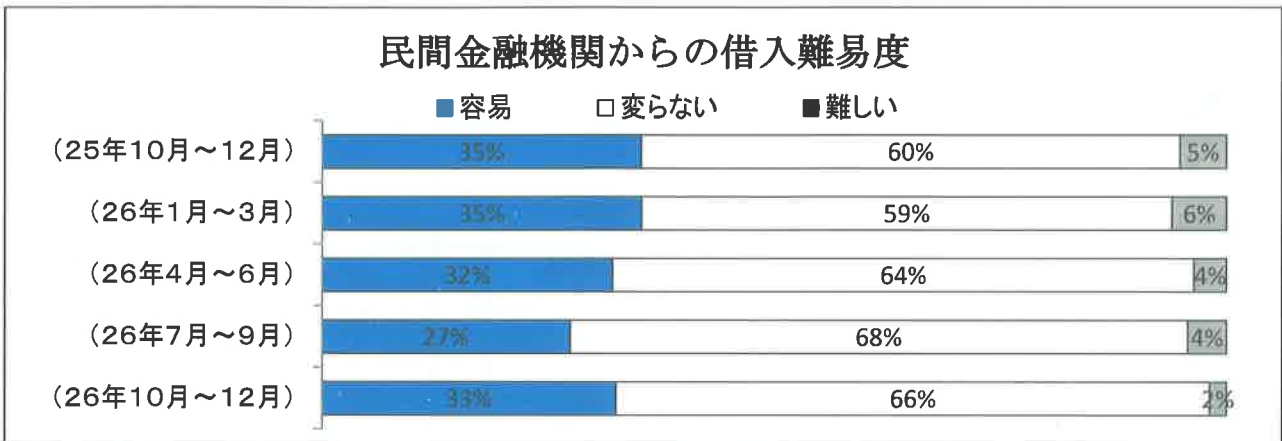
■雇用面の動き■



借入金の動き・難易度



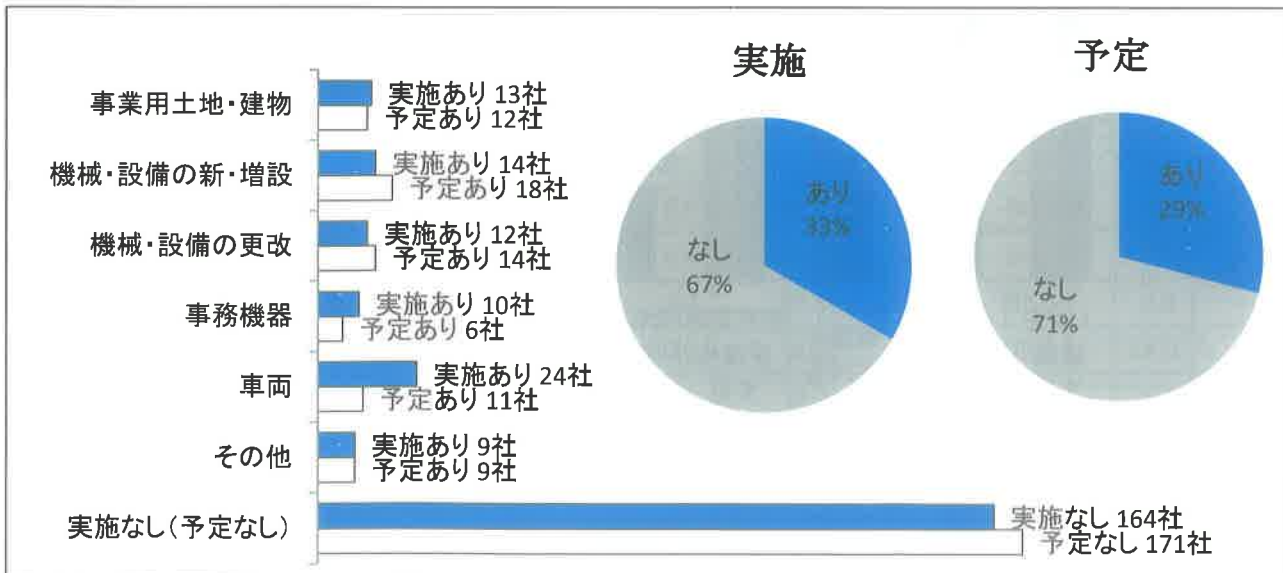
●借入を実施(26年10月～12月)した企業の割合は、去年同期比10ポイント減少した。借入を予定(27年1月～3月)している企業の割合も、去年同期実績に比べ6ポイント減少となっている。



●借入の難易度(26年10月～12月)は、『容易』と回答した企業の割合が去年同期比2ポイント減少し、『難しい』と回答した企業の割合は去年同期比3ポイント減少となっている。

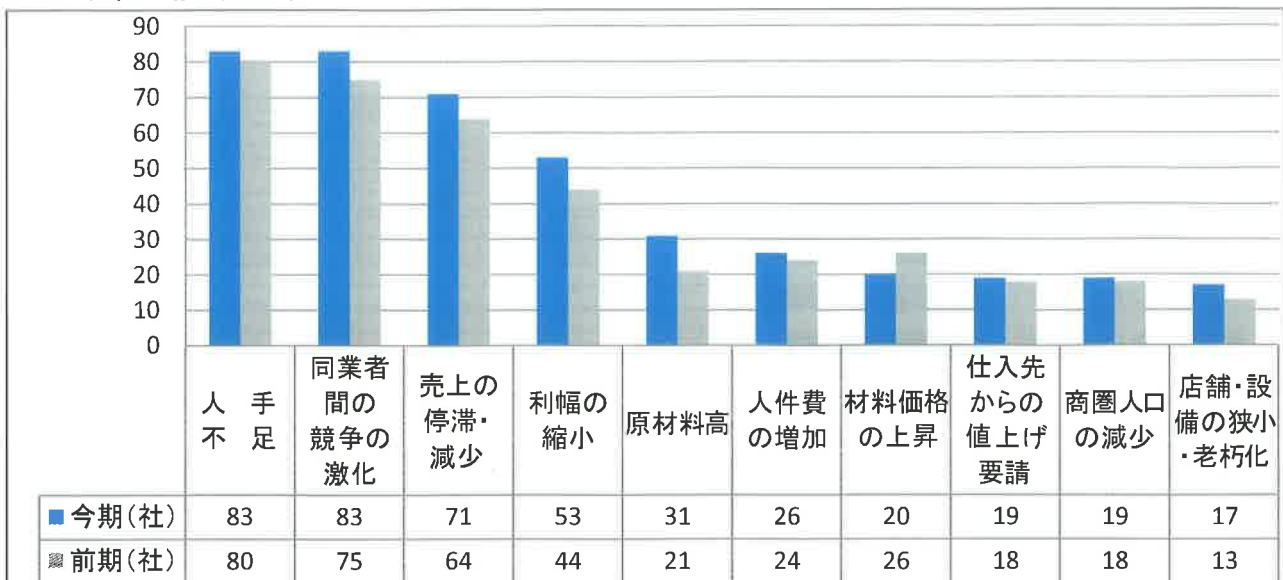
設備投資の実施(26年10月～12月)と予定(27年1月～3月)

●全業種(除く不動産業:有効回答計235社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種 (複数回答)

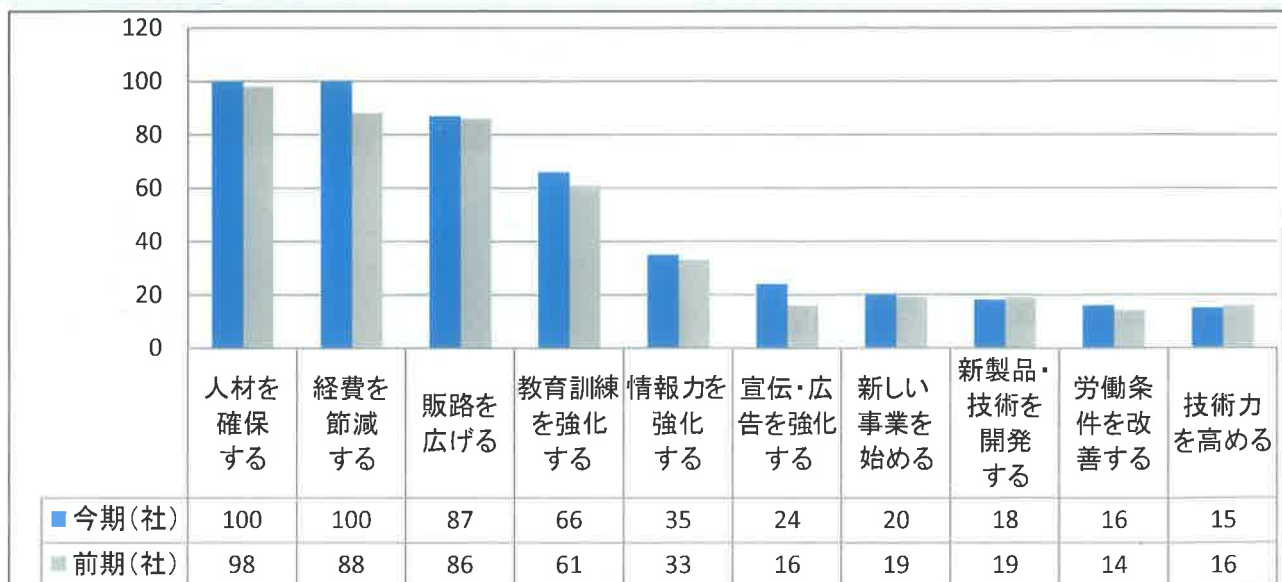


● 業種別 (複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	原材料高	16.4	人手不足	20.7	同業者間の競争の激化	19.4	同業者間の競争の激化	18.2	商品物件の不足	24.0	人手不足	22.9
2位	人手不足	12.7	材料価格の上昇	16.3	売上の停滞・減少	16.7	商業圏人口の減少	14.5	売上の停滞・減少	20.0	同業者間の競争の激化	14.6
3位	売上の停滞・減少	11.1	同業者間の競争の激化	15.2	利幅の縮小	15.3	売上の停滞・減少	12.7	同業者間の競争の激化	16.0	売上の停滞・減少	10.4
4位	同業者間の競争の激化	9.0	下請の確保難	10.9	人手不足	9.7	人手不足	9.1	利幅の縮小	16.0	人件費の増加	9.4
5位	利幅の縮小	9.0	売上の停滞・減少	9.8	仕入先からの値上げ要請	6.9	利幅の縮小	8.2	大手企業との競争の激化	8.0	利幅の縮小	6.3

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種 (複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	18.9	人材を確保する	20.0	販路を広げる	25.4	軽費を節減する	23.3	宣伝・広告を強化する	29.6	人材を確保する	22.9
2位	人材を確保する	16.1	軽費を節減する	18.0	人材を確保する	18.3	教育訓練を強化する	14.2	情報力を強化する	22.2	教育訓練を強化する	16.5
3位	軽費を節減する	15.0	販路を広げる	16.0	軽費を節減する	12.7	人材を確保する	9.2	販路を広げる	11.1	販路を広げる	14.7
4位	新製品・技術を開発する	10.0	技術力を高める	15.0	情報力を強化する	7.0	売れ筋商品を取り扱う	9.2	軽費を節減する	7.4	軽費を節減する	14.7
5位	教育訓練を強化する	10.0	教育訓練を強化する	10.0	提携先を見つける	7.0	宣伝・広告を強化する	8.3	人材を確保する	7.4	技術力を強化する	11.0

■調査員の調査コメントから■

○26年1～3月期は消費増税前の駆け込み需要等で景況感が良くなった。しかし、4～6月期は反動で景況感が大幅に悪化し、7～9月期は天候不順等により期待通りの景況感の回復とならなかったが、今期(10～12月期)になって消費税の影響を感じなくなったとの声が多く聞かれた。

○円安進行により材料価格・仕入価格が高騰しているが、販売価格に転嫁できたとする声は少なく、転嫁できないとの声が大多数であった。また、販売価格に転嫁した企業からは、転嫁後に納入量が減ったとの声も聞かれた。

○材料価格・経費増加の一要因であった原油価格の急落は、運送業や燃料小売業に恩恵をもたらしているが、他業種で材料価格・仕入価格の低下という恩恵をあずかるには時間を要するのではないかとの声が多数あった。

○建設業とサービス業では、引き続き人手不足感が強い。特に建設業では、企業の規模を問わず人手不足が深刻化しており、大手ゼネコンと人材確保で競合することが多くなっているとの声が聞かれた。

○製造業では、商社を通じて輸出を始めたことで売上増加と利益確保ができているとの声が聞かれた。

○卸売業では、取扱アイテムの増加と積極的な既存商圏以外への営業活動を行い商圏拡大を図っているとの声が聞かれた。

○小売業では、岡山駅前的大型ショッピングセンターの取扱商品を見極めたうえで、差別化できる商品を揃えたいとの声が聞かれた。

以上

■調査要領■

■調査対象■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2014年11月20日～12月5日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

DIを中心に分析

5. 季節変動について

業況判断DIは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動(季節変動)がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整(季節調整)は行っていません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。

また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

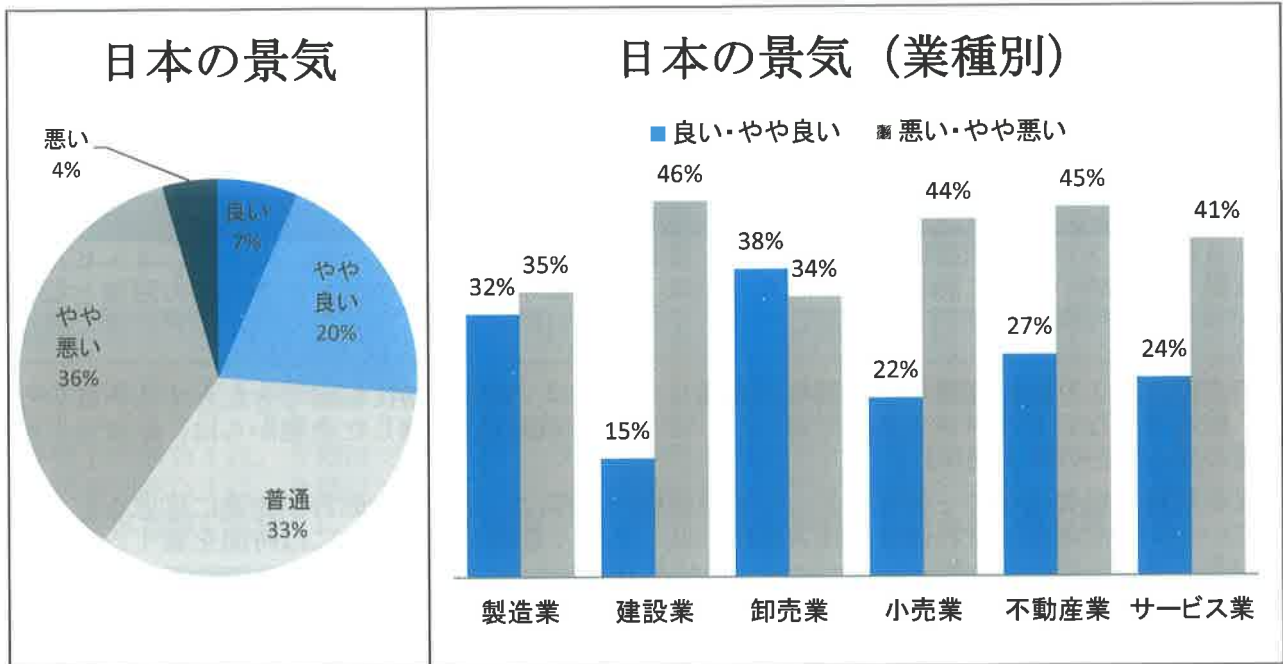
地区別	企業数	比率
津山鏡野地域	152	61.8%
真庭地域	50	20.3%
美作勝央地域	44	17.9%
総計	246	100.0%

業種別	企業数	比率
製造業	74	30.1%
建設業	41	16.7%
卸売業	29	11.8%
小売業	50	20.3%
不動産業	11	4.5%
サービス業	41	16.7%
総計	246	100.0%

従業員規模別	企業数	比率
1～4人	42	17.1%
5～9人	61	24.8%
10～19人	55	22.4%
20～29人	30	12.2%
30～39人	17	6.9%
40～49人	11	4.5%
50～99人	12	4.9%
100～199人	13	5.3%
200～300人	5	2.0%
総計	246	100.0%

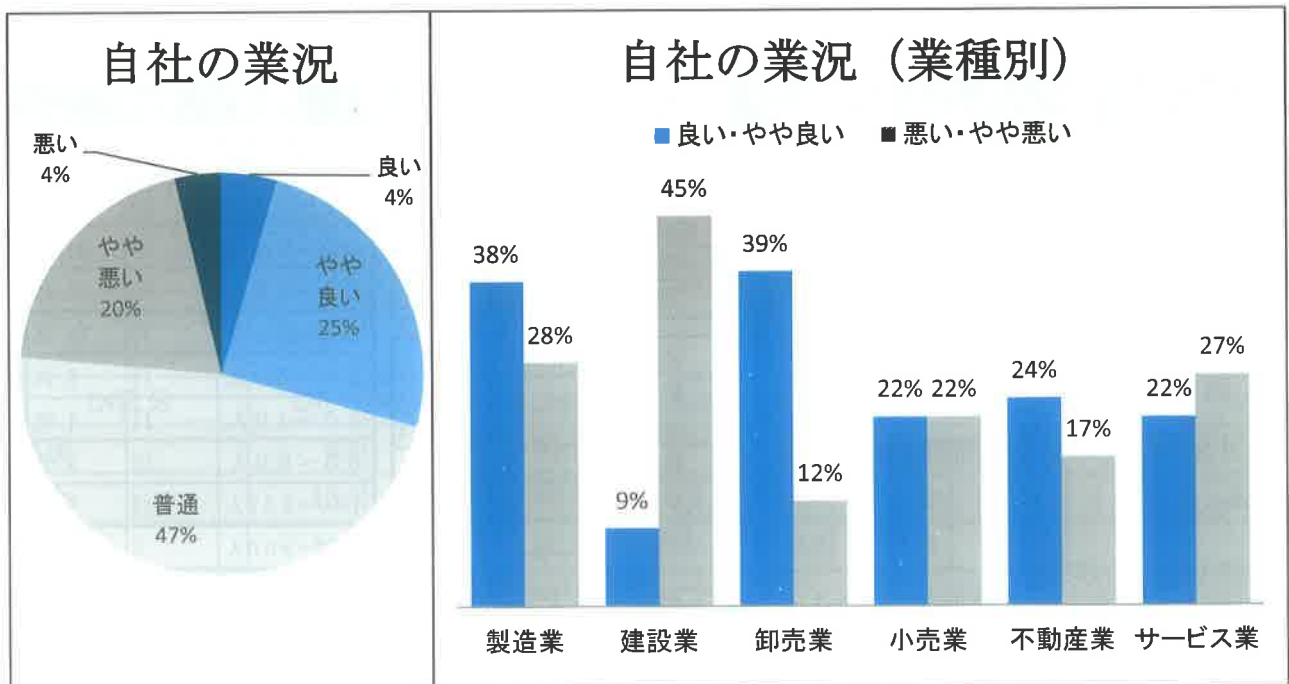
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆
特別調査-「2015年(平成27年)の経営見通し」

問1. 2015年の日本の景気をどのように見通していますか。



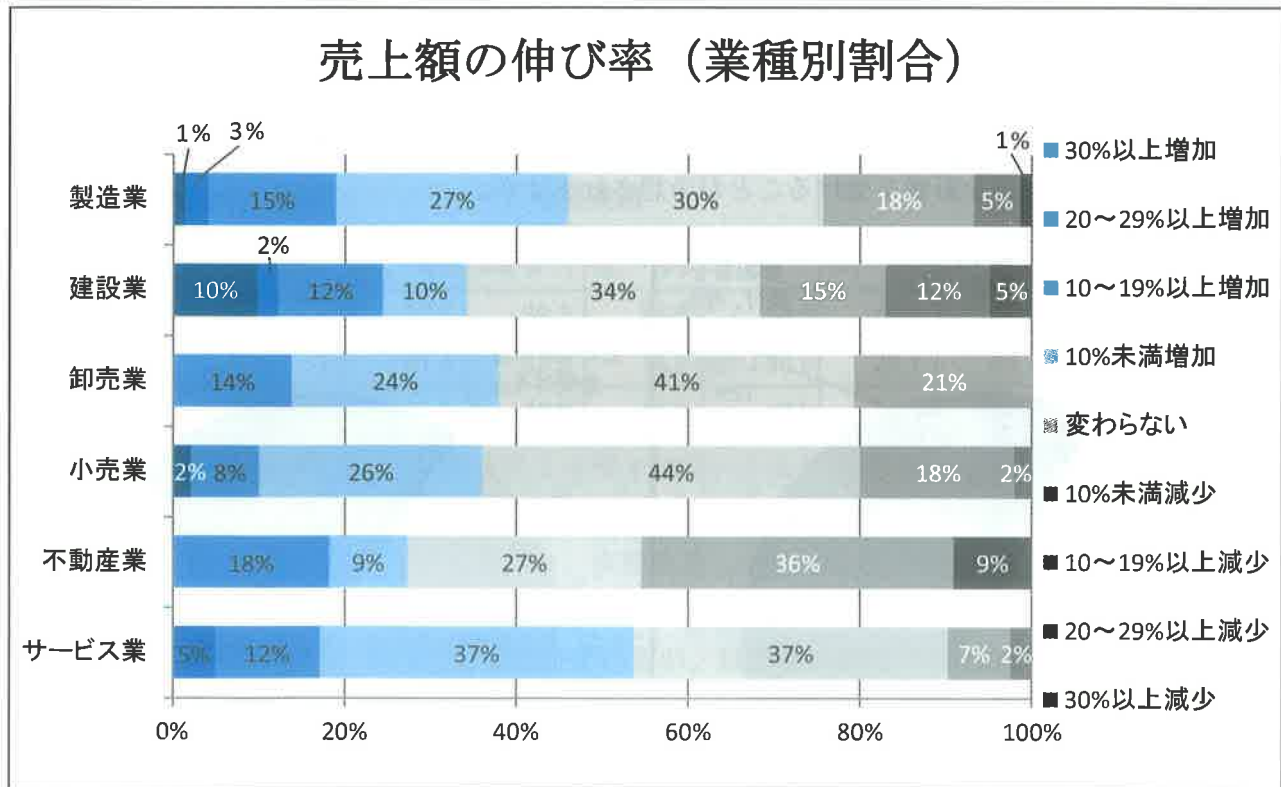
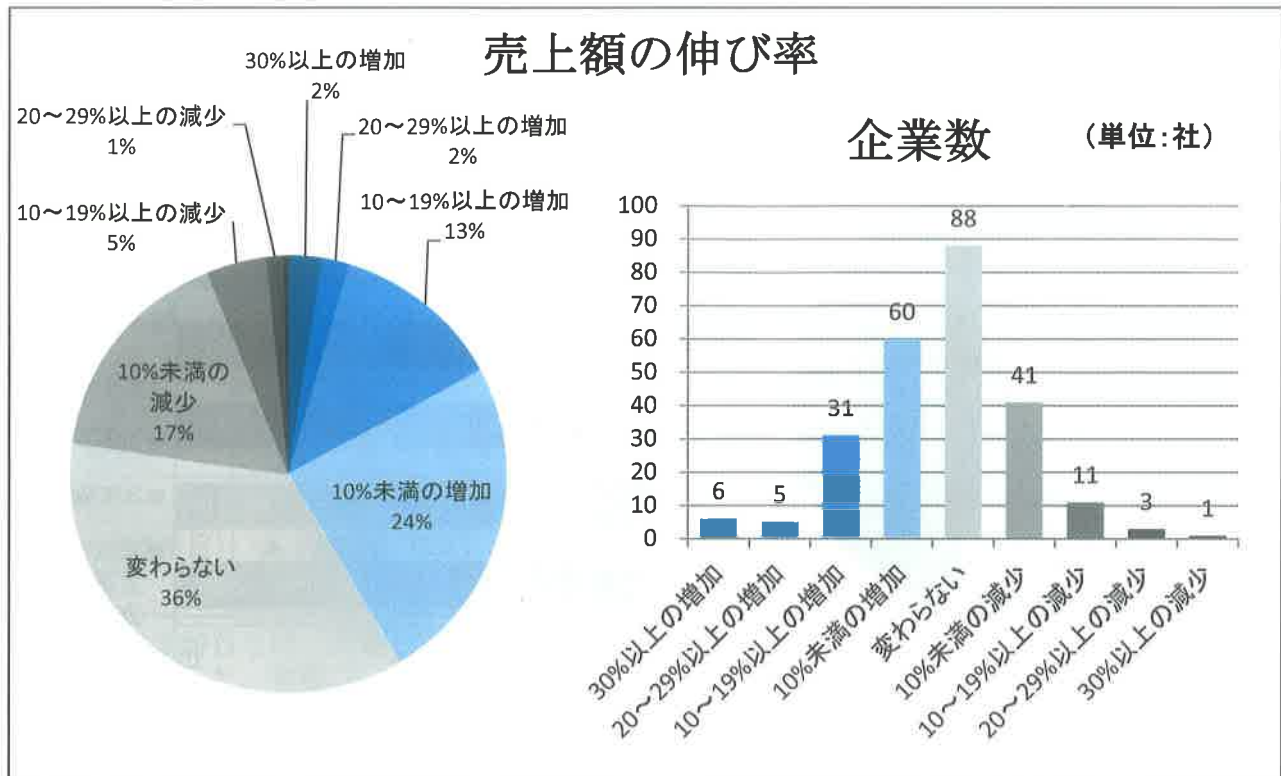
- 『良い』『やや良い』が、27%、『悪い』『やや悪い』が、40%となった。首都圏や大企業は良くなるかもしれないが、地方や中小企業は不透明との声が多く聞かれた。
- 業種別では、卸売業は「良い・やや良い」の見通しが多くなっているが、その他の業種は「悪い・やや悪い」の見通しが多くなっている。

問2. 2015年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



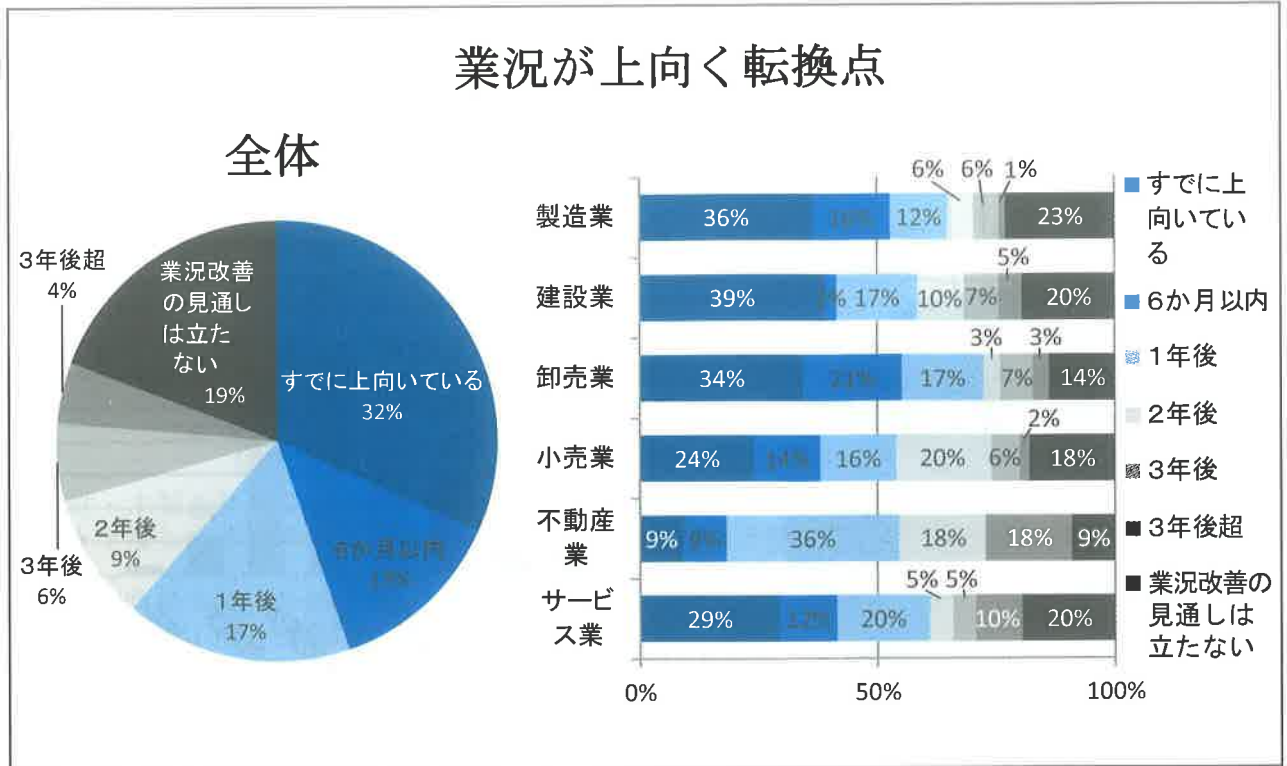
- 『良い』『やや良い』が、29%、『悪い』『やや悪い』が、24%となった。円安進行による材料価格の上昇を不安視する声が聞かれた。
- 業種別では、製造業、卸売業、不動産業は「良い・やや良い」の見通しが多くなっているが、建設業とサービス業は「悪い・やや悪い」の見通しが多くなっている。また、小売業は半々となっている。

問3. 2015年において貴社の売上額の伸び率は、2014年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



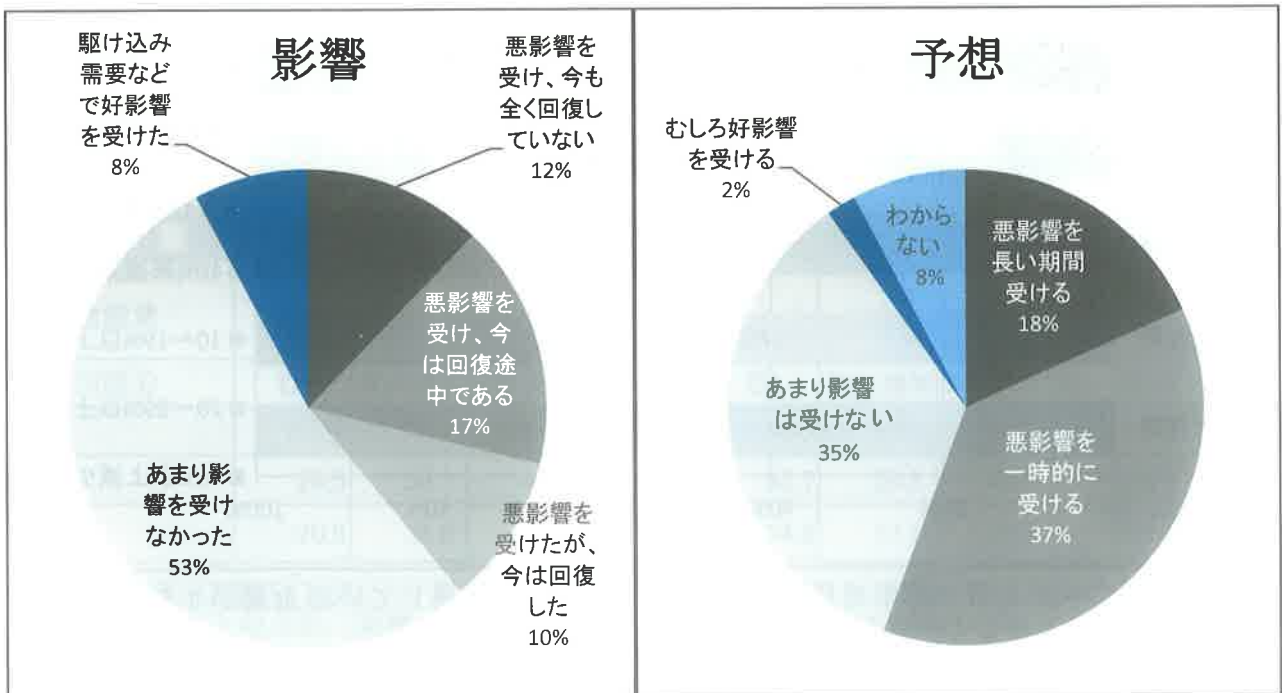
- 2015年売上額の前年比伸び率において、増加と見通している企業が102社（41%）、減少と見通している企業が56社（23%）となっている。
- 売上額の増加を予想する業種は、サービス業、製造業、卸売業、小売業、建設業、不動産業の順となっている。また、減少を予想する業種は、不動産業、建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業の順となっている。

問4. 自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。



- 不動産業を除く全業種で『すでに上向いている』と回答した割合が最も高く、不動産業では2017年の消費税増税を見越し『1年後』と回答する割合が最も高くなった。
- 製造業では『すでに上向いている』『6か月以内』が52%ある一方で、『業況改善の見通しは立たない』が23%あり、二極化がみられた。

問5. 消費税が8%に上がった際、経営にどのような影響を受けましたか。また、10%に上がった場合、どのような影響を受けることが予想されますか。



- 8%に上がった際に『悪影響を受けた』と回答した割合は、全業種合計で39%となった。10%に上がった場合には『悪影響を受ける』と予想する割合が55%となった。

(参考) 固定価格買取制度における再生可能エネルギー太陽光発電設備の作州地域「市町村別導入件数」および「市町村別導入容量」(新規認定分)

※「新規認定分」とは、本制度開始後に新たに認定を受けた設備です。

※資源エネルギー庁再生可能エネルギー発電設備の導入状況(平成26年8月末時点)より作成

●市町村別導入件数 (新規認定分)									(単位:件)		
市町村名	10kW未満	10kW以上	うち50kW未満	うち50kW以上 500kW未満	うち500kW以上 1,000kW未満	うち1,000kW 以上2,000kW 未満	うち2,000kW 以上	合計	認定件数	導入÷認定	
津山市	571	590	575	9	3	3	0	1,161	3,357	34.6%	
真庭市	246	170	164	4	1	1	0	416	1,261	33.0%	
美作市	162	108	101	4	1	2	0	270	1,475	18.3%	
新庄村	7	1	1	0	0	0	0	8	11	72.7%	
鏡野町	93	87	84	1	2	0	0	180	561	32.1%	
勝央町	86	70	65	2	2	1	0	156	470	33.2%	
奈義町	60	41	38	2	1	0	0	101	325	31.1%	
西粟倉村	7	7	7	0	0	0	0	14	23	60.9%	
久米南町	36	32	29	1	1	0	1	68	151	45.0%	
美咲町	100	89	86	2	1	0	0	189	630	30.0%	
作州地域10市町村	1,368	1,195	1,150	25	12	7	1	2,563	8,264	31.0%	
岡山県	13,605	6,512	6,290	133	49	39	1	20,117	39,053	51.5%	
全国	589,180	187,724	177,977	6,141	2,000	1,536	70	776,904	1,368,749	56.8%	

●作州地域での認定件数に占める導入件数の割合は、31.0%であり、岡山県の51.5%、全国56.8%より低い状態となっている。

●市町村別導入容量 (新規認定分)									(単位:kw)		
市町村名	10kW未満	10kW以上	うち50kW未満	うち50kW以上 500kW未満	うち500kW以上 1,000kW未満	うち1,000kW 以上2,000kW 未満	うち2,000kW 以上	合計	認定容量	導入÷認定	
津山市	2,801	20,914	12,950	2,174	1,990	3,800	0	23,715	246,774	9.6%	
真庭市	1,236	6,675	3,469	716	990	1,500	0	7,912	76,209	10.4%	
美作市	799	6,442	2,084	746	612	3,000	0	7,241	213,228	3.4%	
新庄村	33	31	31	0	0	0	0	64	138	46.5%	
鏡野町	472	3,707	1,859	99	1,749	0	0	4,178	25,507	16.4%	
勝央町	456	5,161	1,266	702	1,250	1,943	0	5,617	19,723	28.5%	
奈義町	305	2,306	739	577	990	0	0	2,612	35,285	7.4%	
西粟倉村	33	148	148	0	0	0	0	182	414	43.9%	
久米南町	192	3,466	736	100	630	0	2,000	3,658	34,442	10.6%	
美咲町	498	3,320	2,320	500	500	0	0	3,818	273,759	1.4%	
作州地域10市町村	6,826	52,171	25,603	5,613	8,711	10,243	2,000	58,997	925,478	6.4%	
岡山県	63,715	250,997	126,654	30,827	34,353	57,163	2,000	314,712	2,184,627	14.4%	
全国	2,564,018	9,762,979	3,872,542	1,364,561	1,458,007	2,339,307	728,562	12,326,998	69,422,475	17.8%	

●作州地域での認定容量に占める導入容量の割合は、6.4%であり、岡山県の14.4%、全国17.8%より低い状態となっている。

作州地域の活性化応援信用金庫



岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
営業支援部
(担当：杉山、岡部)